



社宝である四神の青竜像（撮影・石原裕之）

ご挨拶

前会長 森田賢治

このたび初代会長を退任するに当たり、創立以来のご支援ご協力に対し深くお礼申し上げます。顧みて六郷神社が益々、健全な地域社会の精神的支柱として着実な歩みをつづけ、今、みどり豊かな神域と清新な社殿を拝するときは敬神と親近の念ひとしおなものがあります。益々皆様と共に崇敬会活動に努めて参りたいと思います。

新会長 喜多絹子

六郷神社崇敬会は、設立20年目に入りました。この間、さまざまな行事を完遂出来た事は、会の一員として万感の念に堪えません。神事継承を大切にし、これを後世に引継ぐ責務があります。

この度森田会長の退任に伴い、私とその後任の榮を賜わりました。重責ではありますが、職務を全うして行く所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初詣

崇敬会会員の昇殿参拝

平成21年1月3日

午前10時30分(第1回)
午前11時30分(第2回)

◆叙勲

平成20年文化の日にあたり、当会前会長の森田賢治氏は旭日重光章を受章されました。心からお慶び申し上げます。氏は公私にわたって様々の貢献をされてまいりました。ことし85歳、ますますの健康を祈ります。

◆昇殿参拝(表紙参照)

神社から神酒と特別な御札が授与されます。また、新春記帳所を設けますので、御供物をお受けとり下さい。なお境内には、甘酒進上の席も用意します。多数ご参拝下さい。



◆七草流鏝馬祭やぶさめ

長い伝統をもつ六郷神社のことも流鏝馬は、東京都の無形民俗文化財に指定されています。1月7日午後12時より男の児の開運・健康・出世を祈って、式典の後、境内の射場で行われます。

◆神社所蔵の四神しんじんについて(表紙参照)

四神は四方の神、すなわち東の青竜、西の白虎、南の朱雀、北の玄武をいいます。六郷神社の四神については天保三年(一八三二)刊行の『東都歳時略』にも記され、鎮座九百三十年大祭に、彩色も新たによみがえった芸術性の高い彫刻です。

◆お知らせ

バス旅行ご案内

一、日時

平成21年1月24日(土)
8時出発・18時帰着

一、場所

三嶋大社 静岡県三島市、事代主神、大山祇神をまつる。創建年代不詳、旧官幣大社、伊豆国一宮

一、行程

うな吉本店昼食、ご利用邸、沼津魚市場など見学

一、会費

7千円

多数の参加をお待ちします。

◆ついでに早朝まいり講話者

平成20年

2月	吉田 恒男
3月	石井 君子
4月	湯沢 清
5月	岩崎 勝
6月	梅澤喜代造
7月	森田 賢治
8月	喜多 絹子
9月	増渕 國昭
10月	小山 良子
11月	石井 君子
12月	布川テル子





喜多新会長



献木山法師 鋤入れ



森田前会長



大日本茶道協会の奉仕による添釜

11月3日
—— 崇敬会大祭 ——
—— 創立記念日の行事 ——



左端に着席されているのは松原大田区長

崇敬会第7期役員決まる

このほど左記のとおり第7期役員を選出しました。会員のみなさまの二層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。(平成20年6月21日現在)

宮司	鈴木武司	常任理事(五十音順)	足利好枝	出川恭央	理事(五十音順)	今村将則
禰宜	鈴木祐		石渡啓子	飛田弓子		金輪雅夫
顧問(神社責任役員)	鈴木孝雄		石川建司	布川テル子		川田清
顧問(初代会長)	江部謙五		岩崎弘三	東澤修二		神部秀守
参与	森田賢治		遠藤富美子	平野卓治		代田重樹
会長	鈴木明		上川良枝	宮崎ゆき子		高橋好行
副会長	喜多絹子		杉山恵子	持田博美		坂東栄三
	増淵國昭		須山温夫	森代繁春		平野唯七
	石井君子		高橋準夫	八代恵子		前嶋三枝
			田畑久夫	山中恵明		吉野鷹夫
			坪井徹夫	吉田恒男		森野佐喜次

平野順治氏(元副会長)には平成20年6月17日逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。氏は崇敬会創設以来副会長として盡力し、併せて「六郷神社誌」「六郷今昔小誌」などの執筆に

専念されました。また区の広報誌「六郷わがまち」の平成4年の創刊号から平成17年の35号まで、編集委員長として努力されました。

◆新入会員紹介

東三・大森 雅浩
仲二・藤池 美恵
南一・山中 明
荻中三・飯島 秀

◆平成20年度年会費 納入のお願い

年会費(平成20年4月1日より21年3月31日までの分)未納の方は、お手数でも同封の振替用紙でお納め下さい。社務所でも受けます。

発行 六郷神社崇敬会

〒441-0046

大田区東六郷三丁目十八

六郷神社社務所内

電話 〇三三・七三三・八八九

振替 〇三三・九〇八

編集 宮崎 豊